

科目名	期別	単位数	開講年次	担当教員名
(新)(旧)会社法Ⅱ	後期	2単位	(標)2年 (既)1年	松本 博

授業目的	<p>会社法の基礎固めと応用能力の育成を授業目的とする。 最も実務的でかつその内容も多岐にわたる会社法を機関と機関以外の部分に大別し、本授業では機関の部分テーマとして授業を進める。会社の機関については会社法の中でも最も重要な部分であり、現代社会においてもその法的責任が問われているところでもあるので、機関責任の法律構成にポイントを置くこととする。</p>		
達成目標	<p>会社法の基本構造を理解したうえで、具体的な事例の検討を行うことで、問題解決能力の養成を意図している。本授業の内容は、広範にわたる会社法の領域に対応することを前提としているため、授業全体の内容は既修者レベルを念頭に置いている。したがって未修者については基礎部分の理解を中心に捉え、応用部分については堅実にステップアップすることを目標として欲しい。受講者全員が実務的な処理能力を涵養することを期待している。</p>		
授業計画と予習事項	回数	各回タイトル	授業内容、予習基本事項
	1	会社の機関設計	機関設計の基本ルール、機関設計の種類
	2	株主総会①	株主総会の権限、招集手続、株主提案権、議決権の代理行使、総会決議の瑕疵
	3	株主総会②	株主総会の運営、取締役等の説明義務、議長の権限
	4	取締役・取締役会・代表取締役・会計参与①	取締役・取締役会
	5	取締役・取締役会・代表取締役・会計参与②	代表取締役の権限濫用、表見代表取締役
	6	取締役・取締役会・代表取締役③	取締役の善管注意義務、内部統制システム、忠実義務、競業取引、利益相反取引
	7	取締役・取締役会・代表取締役・会計参与④	取締役の報酬、取締役の会社に対する責任、取締役の責任免除
	8	取締役・取締役会・代表取締役・会計参与⑤	株主代表訴訟、取締役の違法行為の差止
	9	取締役・取締役会・代表取締役・会計参与⑥	取締役の第三者に対する責任、名目的取締役の責任、会計参与
	10	監査役、監査役会、会計監査人、委員会設置会社①	監査役、監査役会
	11	監査役、監査役会、会計監査人、委員会設置会社②	会計監査人、委員会設置会社
	12	組織再編①	組織変更、事業譲渡、
	13	組織再編②	合併
	14	組織再編③	会社分割、株式交換・移転
15	解散・清算	会社の解散・清算	
授業方法・予習上の留意点(各回指示以外) 自習事項	<p>授業では、まず教科書の一般的な説明から入り、次に、事例と設を検討する。したがって、教科書、ケースブック会社法、判例百選の当該箇所を必ず予習してくる。会社法 100 問は復習用としても積極的に活用して欲しい。 理解・進捗度確認のため、適宜、小テストを行うことがある。</p>		
評価方法と評価基準 (期末試験、レポート、ディベート等)	<p>小テストまたはレポート 30%、期末試験 60%、平常点(授業の際の質疑応答、プレゼンテーション等)10% の割合で評価する。 無断欠席は 1 回につき 5 点減点する。</p>		

<p>テキスト 独自教材</p>	<p>弥永真生『リーガルマインド会社法 第12版』(有斐閣)  葉玉匡美『新・会社法100問第2版』(ダイヤモンド社)  『会社法判例百選』(有斐閣)  丸山秀平他『ケースブック会社法第3版』(弘文堂)</p>
<p>参考書</p>	<p>前田庸『会社法入門 第12版』(有斐閣) 一般的なテキストとして定評あるもの  神田秀樹『会社法 第12版』(弘文堂) 一般的なテキストとして定評あるもの  江頭憲治郎『株式会社法第3版』(有斐閣) 詳細な記述の基本書であり、辞書的な利用に最適</p>